

令和6年6月4日

令和6年度定時総会 今井会長挨拶

奥村前会長の後を受けて、全建会長に就任致しました今井でございます。このたび、全建会長という大役を仰せつかることとなり、大変身の引き締まる思いです。

建設業はわが国の重要な基幹産業であり、地域建設業は地域の人々の安心・安全な暮らしを支える「地域の守り手」であるとともに、地域経済の基盤づくりを担っています。

本年1月1日に発生した能登半島地震をはじめ、近年激甚化・頻発化している地震・豪雨・豪雪などの自然災害に対する防災・減災対策、また、災害が発生した際には道路の啓開をはじめとする復興・復旧作業、ほかにも社会インフラの整備・更新や老朽化対策など、地域建設業には大きな期待が寄せられております。

しかしながら、時間外労働の上限規制への対応をはじめとした働き方改革と処遇の改善、担い手確保など、地域建設業にとって克服すべき課題は山積しており、これらの解決に向けては、引き続きスピード感をもった積極的な取り組みが求められています。

奥村前会長におかれましては、2期4年の長きにわたり、建設業界の発展と改革のために常に先頭に立ち、大変な御尽力を賜りましたことに対しまして、心より感謝と敬意を表したいと存じます。奥村前会長をはじめ歴代会長が築いてこられた伝統と実績を踏まえ、これから47の各都道府県協会長と一緒に、地域建設業が一致団結し「地域の守り手」としての社会的使命を果たすとともに、建設業に携わる人たちや建設業を目指す若者が、夢と誇りを持って活躍できる、希望に満ちた憧れの産業となるよう力を尽くしてまいります。

会員の皆様方におかれましては、今後とも本会の事業活動に対し、より一層のお力添えを賜りますようお願いを申し上げ、私の御挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。